

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり）
指定管理者名	社会福祉法人あかつき福祉会
開催日	令和2年（2020年）9月28日（月）
開催場所	箕面市立総合保健福祉センター2階 会議室3,4
合議の出席者	箕面手をつなぐ親の会 副会長 名瀬 須和子氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 井上 千都氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 座長 岡本 直美氏

【概要】別添のとおり

内容

令和2年9月28日(月)に箕面市立総合保健福祉センター2階3、4会議室にて、指定管理者の合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

(障害福祉室の説明：「市」、指定管理者の説明：「指」)

1) 利用者アンケートについて

- アンケートの配布は通所されている人へのみ手渡ししているのか。長期休みの人への配布は行っているか。

指：日々通所されている利用者には直接渡し、長期欠席者には郵送している。

- 老朽化によってトイレの使い勝手が悪いという意見がある。

指：具体的な状況は不明だが、ストレッチャー用、車椅子用などのトイレがあるため、一人一人に合ったトイレをご案内している。多目的トイレの設備が古いことは事実のため、今後の修繕計画で検討していく。

2) 指定管理事業について

- 個別支援計画を作成する時、障害特性上本人のニーズが汲み取り辛い等の場合はどのように工夫しているのか。

指：ご家族への面談は必ず行い、相談支援事業所の情報等も参考にし、日々の活動からもご本人の意思を汲み取るよう努めている。ご本人にとって、何が、どのように作用するか分からないため、都度状況を把握して反映させている。特に本年は室内で楽しめる活動を増やすなどの対応をしている。

- 給食は現場調理からクックチルに変更されたが、利用者の状態に合わせた独自のメニューには対応出来るのか。

指：外部委託はしているが、現在はクックチルではなく現場調理をしている。アレルギー食品の除去や独自メニューにも対応している。

- 異物混入が増えているが、具体的な内容と改善方法は。

指：野菜に小虫等が混入、骨なし魚に小骨が残っているなどが発生した。いずれも利用者の手に渡る前に職員が発見・対処し、仕入れ業者は変更した。

- 車両事故の件数が増えている理由は何か。

指：敷地内で駐車時に障害物にぶつける、送迎先で旋回時に電柱にこするなど。送迎先で旋回が難しい場合は、乗降場所の変更や、小型車の利用、送迎ルートを組み直しなどの方法で対応している。

- 運転手の年齢に関する規定は設けていないのか。

指：設けていない。年齢に応じて事故が増加している状況は発生していないため、運転適性検査と健康診断で判断している。

様式 1 1

- 決算書の赤字要因は何か。

指：新型コロナウイルスによる利用率の大幅減が要因である。

- 箕面市内の利用者の送迎費は無料だが、森町の利用者のみ費用を負担することになっている。同じ箕面市内で差が出ることには納得できない。国からの補助制度はないため、市単独補助などの対応があっても良いかと思う。

市：検討する。

- 貴事業所ではできない訓練をご本人やご家族が希望した場合、他の事業所を提案するなど、相談支援事業所のような提案も可能ならば行って欲しい。

指：ご指摘のとおり様々な資源を活用していく。

3) 総評

合議メンバーからは、総評として下記の意見が出されました。指定管理者として円滑な施設運営を行っている、市として評価します。

これまでの指摘事項は改善され内容は良くなっている。施設サービスの面では普段から保護者と連携を取り、利用者の意思を汲み取ってサービスに繋げる姿勢は非常に丁寧である。指定管理者として事業所間の人材交流など、ノウハウの情報の発信源として、障害者が地域で長く住み続けられる環境作りに、これからも関わってもらいたい。